

# 新型コロナウイルス (COVID-19)

## ロサンゼルス郡公衆衛生局 信仰を基盤とした団体向けガイドライン

コロナウイルス感染症 2019 (COVID-19) は、SARS-CoV-2 ウイルスによって引き起こされる呼吸器疾患です。中国で最初の症例が確認されて以来、米国を含む他の多くの国々に蔓延しています。ロサンゼルス郡での COVID-19 の症例数は増加を続けており、それには COVID-19 のコミュニティ内での伝染も多く含まれています。症例数の増加に伴い、郡の居住者の間には COVID-19 による深刻な病状や死亡数が増加しています。

以下の信仰を基盤とした団体向けガイダンスは、COVID-19 への曝露を予防し、その拡散を削減するためのものです。医療機関に負担をかける深刻な病気の大量発生を回避することが最重要課題であり、そのためには皆様のご協力が重要です。

COVID-19 の拡散を減速させるために、2020年3月21日に発令された改訂版衛生担当官命令により、一般市民に必須サービスを提供するもの以外のすべての企業が直接会って行う業務を停止し、必須サービスの提供者以外の全住民は自宅待機が義務付けられました。この命令により、公的または私的な集会は禁止されました。衛生担当官命令や その他 COVID-19 関連の命令書は <http://publichealth.lacounty.gov/media/coronavirus/> で参照できます。

現在の命令では、COVID-19 に感染した人は 最低 10日間、かつ症状が改善し、解熱剤を服用しない状態で発熱が治まってから 3 日間は自宅で自己隔離することが更に義務付けられました。ウイルス感染者 または感染が疑われる人と濃厚接触したすべての人は、症状が発現した2日前（48 時間）以後の曝露を含め、曝露後14日間の自宅検疫が義務付けられています。この期間は、自身の感染状態を判断し、症状が出た場合に適切な措置をとるのに十分な期間であると考えられています。

以下は これらの衛生担当官命令書に関連して、信仰を基盤とした団体において COVID-19 を含む呼吸器感染症の拡大防止に役立つ推奨事項です。COVID-19 に関するよくある質問 (Q&A)、企業および雇用主向けガイダンスや、視覚化された情報などは、公衆衛生局新型コロナウイルスのウェブページからご参照ください。

<http://publichealth.lacounty.gov/media/Coronavirus/> 本ガイダンスは、状況が変わり次第更新されます。

## ご自身と信仰コミュニティ用の予防措置を講じてください

コミュニティの人々に、COVID-19 の蔓延を防ぐための指針に注意深く従うよう促してください。現状では COVID-19 のワクチンや治療薬はありません。しかし、COVID-19 などのウイルス感染に対する 拡大防止策はあります。

- 手洗いは こまめにしっかりと行う。20 秒以上かけて石鹸と水で手を洗う。石鹸と水が使えない場合は、アルコール濃度60% 以上の手指消毒液を使用して20 秒以上かけて手指の消毒を行ってください。
- 他人との濃厚接触を制限する。なるべく自分と他者との間に最低フィートの距離を保つようにする。また、他の人との対面時間は10 分未満に抑える。
- 頻繁に触れる物や表面を定期的に清掃し消毒する。表面に適した家庭用クリーナーやEPA登録された消毒剤を使用し、安全で効果的な使用のため、ラベルに記載されている指示に従う。アメリカ疾病予防管理センター(CDC) 環境消毒の推奨事項については、以下を参照してください。  
<https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/community/home/cleaning-disinfection.html>
- 食器、コップ、飲食物などを共有しない。
- 他人との肌と肌の接触（握手、抱擁など）を制限する。

# 新型コロナウイルス (COVID-19)

## ロサンゼルス郡公衆衛生局 信仰を基盤とした団体向けガイドライン

健康を維持するための対策を講じてください。不要にCOVID-19 感染にさらされたり、他人に感染を広めたりしないようにしてください。感染によるリスクの高い方と接するときは、上記の指針に従うように特に注意してください。リスクの高い方には、以下が含まれます。

- 65 歳以上の方
- 免疫が抑制されているか、免疫力が低下している方（HIV や癌など）
- 糖尿病、肺疾患または心臓病などの慢性疾患のある方
- 妊娠中の方

ご自身、教区民、または職員が病気になった場合、他人への感染拡大を防ぐための措置を講じてください。

- 自宅待機、もしくはできるだけ早く帰宅する。症状が軽度でリスクが高くない場合は、医師に連絡する必要はありませんが、家に帰って自己隔離するまでは、他の人との接触を避けてください。
- 帰宅したら、頻呼吸、息切れ、または脱水症状（嘔吐）など 症状悪化の兆候に注意する。症状が悪化したら医療従事者に連絡してください。
- 症状が現れてから最低でも 10 日間、かつ症状が改善され、解熱剤を服用しない状態で発熱が治まってから 3 日間（72 時間）は自宅待機（自己隔離）して、他人と接触しない。
  - すなわち、1 日だけ症状が現れた場合でも、必須とされる 10 日間は自宅待機しなければなりません。自宅待機中は、家族への伝染を避けるために感染管理を行うように注意してください。
- 家庭内のすべての方、および症状が現れる 2 日前より後に 10 分間以上一緒に過ごし、6 フィート未満の距離で濃厚接触した人は、ウイルスに曝露されたと見なされます。また、濃厚接触はウイルス感染者の体液への直接の曝露（くしゃみや咳、食器の共有など）を含むと定義されています。現在の衛生担当官命令では、濃厚接触者は 14 日間自宅で検疫を行うことが義務付けられています。この期間には、人が感染した場合に症状が現れる可能性が高い期間も含まれています。
  - 家庭内検疫のガイダンスは、[COVID-19 検疫のガイダンス](#) からアクセスできます。14 日間の検疫期間中に症状が出た場合は、隔離を開始し、上記のように 症状が現れてから最低 10 日間は隔離を継続する必要があります。病気を発症した人に濃厚接触した人も、家庭内検疫を開始する必要があります。

## COVID-19の発生中 信仰を基盤とする指導者のための主要なガイドライン

以下に説明するように、参席が制限された葬儀と結婚式を除き、直接会って行うすべての集会は追って通知があるまで禁止とされます。

1. 結婚式を行うためのガイダンスは <http://publichealth.lacounty.gov/media/Coronavirus/docs/business/GuidanceConductingWeddings.pdf> を参照し、葬儀の執り行いに関するガイダンスは <http://publichealth.lacounty.gov/media/Coronavirus/docs/business/GuidanceConductingFunerals.pdf> を参照する。
2. 復活祭や逾越祭前後に行うものを含め、礼拝はライブストリーミング、録音、録画にて実施する。
3. 参席を制限した葬儀や結婚式以外のすべての洗礼式、バル・ミツワー、堅信礼、およびその他 人生の節目における行事は、バーチャルで行うか延期する。
4. 食品の提供などの必須サービスに関わる活動は、社会的距離や衛生措置に従って実施する。

# 新型コロナウイルス (COVID-19)

ロサンゼルス郡公衆衛生局  
信仰を基盤とした団体向けガイドライン

## 信仰コミュニティのその他の懸念

1. 礼拝サービスは、ライブストリーミング、録音、または録画が要されます。直接会って行う集会は、すべて許されません。会衆指導者は、放送技術や録音業務を含む礼拝作業をどのように手配するか検討してください。技術に精通している教区が電話やネットを通して技術に精通していない教区に対し技術的なサポートをし、インターネットを通じたオプションを利用することもできます。これは、若い教区の方に地域社会へ貢献するいい機会にもなるでしょう。
2. 食品や衣類の配布の奉仕活動を行っている信仰を基盤とした団体は、それらは受け取ってから直ぐ立ち去れる、または接触をせずに届けられるようにしなければなりません。食べ物や、衣服、乳幼児用品、ベビー用品などの箱詰めや袋詰めの準備や組み立て中は、6フィートの社会的距離措置を順守してください。食品流通に関する詳細なガイダンスについては、[COVID-19 食品の配達に関するガイダンス](#)を参照してください。
3. 住宅やシェルターの奉仕活動。ホームレスのシェルターでの COVID-19 の症例は、脆弱な人達への急速な病気の拡大につながる可能性があり、居住者とスタッフの健康と安全性を損なう重大なリスクがあります。COVID-19 を含む呼吸器感染症の蔓延を防ぐため ホームレスサービス提供者が遵守しなければならない手順についての重要な情報は、[ホームレスサービスに関する COVID-19 ガイダンス](#)をご覧ください。
4. 自宅、病院、ホスピス、介助生活、リハビリセンター、およびいかなる施設へのすべての訪問は、可能な限りバーチャルテクノロジー（電話、ズーム アプリ、フェイスタイム、Google ハングアウトなど）を介して行ってください。臨終の人への最後の儀式を行う、または病人のニーズに直接対応する信仰指導者は、病院の訪問規則を遵守し、個人用保護具 (PPE) の使用を含むすべての適切な衛生手順を順守する必要があります。病院では、医療従事者に報告をし、患者の部屋に入る前と出る際はその方達の指示に従ってください。家庭訪問の場合は訪問前後の手洗いや、手袋、マスク、服を覆うガウンの着用を行ってください。注ぎ油や聖なる水を使用する儀式や、聖餐用のコップの共用など、すべての宗教的儀式を停止してください。
5. 洗礼式、幼児の献身式、バル・バトミツワー、および堅信礼は延期してください。集会儀式はバーチャルで行うことも可能です。
6. 葬儀、埋葬、および死の儀式。葬儀、礼拝、お通夜に関連するすべての公共集会は停止されています。葬儀や墓地で行われる儀式は このガイダンス文書にある参列者制限に従う必要があります。葬儀は、埋葬と火葬サービスを提供できますが、人々が集まることはできません。同居している身内の方と信仰指導者の方は直接墓地に集うことができますが、特定の指針やライブストリームサービスの有無に関して確認をするため、葬儀場に直接問い合わせることを推奨します。追悼式は延期し 後日行ってください。
7. 聖職者および牧師によるケア（カウンセリング、危機介入、夫婦カウンセリングなど）は、バーチャル（電話、ズーム アプリ、フェイスタイム、Google ハングアウトなど）で行ってください。



# 新型コロナウイルス (COVID-19)

## ロサンゼルス郡公衆衛生局 信仰を基盤とした団体向けガイドライン

8. 礼拝に加えて通常直接会って行われるすべてのグループ・奉仕活動は、バーチャルで行うか、延期してください。これには以下を含みますがこれらに限定されません。
  - コミュニティグループ
  - 男性や女性の集会などの小さな集まり
  - すべての子供、青年、および高齢者の活動
  - アルコール依存症や、死別、離婚などから回復するための支援グループ
  - 会衆委員会
  - スポーツや芸術活動
  - 瞑想の実践
9. **聖週間と過越祭。** 多くの信仰を基盤とした団体にとって、過越祭やイースターなどの 聖なる時期が近づいています。これらのお祝いは重要かつ古くから続く伝統であり、現在、家族にとって特に重要であるかもしれません。この様なお祝いはバーチャルで行い、ライブストリームを介して教区民が創造性を持ち、子供、若者、大人、そして年長者を奉仕や伝統行事に参加させることを推奨します。

病気、孤独、経済的困難が多くの住民やコミュニティに負担となっている今、信仰指導者の方は明らかに、ロサンゼルス郡に安心とケアを提供する上で重要な役割を果たしています。COVID-19 の蔓延を減らし、病気の方に最適なケアを提供し、地域社会の回復を早め、これらの負担を軽減する支援をする中で、皆様のリーダーシップ、ご協力をお願いします。

## 情報源

ソーシャルサービスや医療ケアを探すサポートが必要な場合は、年中無休でご利用頂けるロサンゼルス郡の情報ライン2-1-1までお電話ください。

- 知っておくべきこと（インフォグラフィック）
- ストレス対処方法（いくつかの言語で利用可能）
- 手洗いの手順
- 曝露した場合の対処方法
- COVID-19 感染が確認された方向け家庭内検疫の手順
- 呼吸器症状のある方向け在宅ケアの手順
- コロナウイルス感染症 2019 の症状がある場合の対処方法（インフォグラフィック・ポスター）

その他の信頼できる情報源は次のとおりです。

- カリフォルニア州公衆衛生局（CDPH、州）
  - <https://www.cdph.ca.gov/Programs/CID/DCDC/Pages/Immunization/nCOV2019.aspx>
- アメリカ疾病予防管理センター（CDC、国立）
  - <http://www.cdc.gov/coronavirus/novel-coronavirus-2019.html>
- 世界保健機関（WHO、国際）
  - <https://www.who.int/health-topics/coronavirus>
- アメリカ葬儀協会
  - <https://nfda.org/covid-19>

ロサンゼルス郡の健康維持のため、皆様の献身的な尽力に感謝いたします。